

芸術監督・斎藤 純のショートエッセイ 石神の丘から 124

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

さっそくですが、今月もお正月にも冬にも相応しくないオートバイの話です。

冬の間、私たちオートバイ乗りはオートバイを夢想し、オートバイに恋い焦がれます。オートバイに乗ることができないからこそ、思いがいつそう募るのでしょう。春になったら会津ツーリングに行こうとか、夏には北海道ツーリングに行こうなどと計画をたくさん立てます（それは計画というよりは願望に近いものですが）。そんな思いが募りに募った挙げ句、この時期にオートバイを買い換える人も少なくありません。

そんなふうに私たちを虜にするオートバイの魅力って、いったい何でしょうか。

ひとことで言うと「解放感」だと思います。公道をクルマと同じ条件で走行しているのに、オートバイはより自由な感覚を、乗り手であるオートバイ乗りに与えます。この解放感はひとつ間違えると、逆走したり、信号を無視したり、過剰なスピードで走りまわるといふ暴走族につながります。私たち大人のオートバイ乗りは、オートバイから得られるこの感覚が「魂の解放」であることを知っています。

暴走族のような無軌道な行為は、オートバイが与える解放感に対する誤解の産物と言っていいでしょう。オートバイによって得られる魂の解放感は、自己の内面に起こる作用なのです。

オートバイは雨が降れば濡れますし、夏は（傍で見て以上の）暑い乗り物です。私のオートバイは排気量が 1100cc もあるのに乗車定員は二人、高速道路の通行料は軽自動車と同額です。不便だし、実用的でもありません。

でも、雨が上がり、雲の切れ間から陽が差し、やがて青空がひろがると、その美しさに涙が溢れてきます。奥羽山脈や北上高地の山道を走っていると、森林の色や匂いの多様なことに気づかされます。

オートバイ乗りはシートに一人またがり、クルマよりも運転が難しいオートバイを操っています。たいていのオートバイ乗りは、オートバイに乗って何時間も、誰とも言葉を交わすこともなく、孤独です。その孤独の中でオートバイと対話し、オートバイを通して大地と対話し、ひいては自然と対話します。それらは結局のところ自己との対話です。

つまり、オートバイ乗りはオートバイを通して自分自身を見つめざるを得ません。その結果、魂が解放されるわけです。これがオートバイの最大の魅力だと私は思います。

石神の丘美術館通信《いしび》

ishibi

2020. 1 Vol.202

令和 2 年 1 月発行
発行・岩手町立石神の丘美術館
岩手県岩手郡岩手町五日市
10-121-21 〒028-4307
TEL 0195-62-1453
FAX 0195-62-1477
<http://museum.ishigami-iwate.jp/>

屋外展示場はリニューアル工事の為
2020年初夏までお休みしています

令和元年度 岩手町小中学校・高校 絵画コンクール作品展

会 期:2020年1月4日(土)~26日(日)

開館時間:9:00~17:00(入館は16:30まで)

休 館 日:毎週月曜日(月曜が祝日の場合翌日) ***観覧無料***



各部門最優秀賞
/上段左から

目時 茉緒(沼宮内小1年)
葛城 ひなた(沼宮内小4年)
斎藤 佑(沼宮内中3年)
三浦 遥斗(沼宮内高2年)

《同時開催》ホールの小さな展覧会

ウズベキスタンとカザフスタンの子どもたちの絵

この展覧会では、「日本ユーラシア協会岩手県連合会」の協力で、ウズベキスタンとカザフスタンの児童画や民族衣装を紹介します



岩手町 小中学校・高校 絵画コンクール入賞者

■小学校低学年（1～3年生）の部 応募点数 83点

- 《最優秀賞》 目時茉緒（沼宮内 1）
 《優秀賞》 竹花桜汐（沼宮内 1）、千葉柊莉（沼宮内 2）
 馬淵菽成（沼宮内 2）
 《佳作》 齊藤大和（沼宮内 1）、武田夏帆（沼宮内 1）
 田村萌夏（沼宮内 2）、山本希咲（沼宮内 1）

■小学校高学年（4～6年生）の部 応募点数 81点

- 《最優秀賞》 葛城ひなた（沼宮内 4）
 《優秀賞》 今松星哉（一方井 4）、上館結衣（沼宮内 4）
 早坂颯真（沼宮内 4）
 《佳作》 瀧本結月（沼宮内 4）、千葉賢伸（川口 4）
 中村智樹（沼宮内 4）、畠山ひなた（川口 4）
 松本成琉稀（一方井 4）、三浦惺夏（沼宮内 4）

■中学校の部 応募点数 113点

- 《最優秀賞》 齊藤佑（沼宮内 3）
 《優秀賞》 今松美緒（一方井 2）、川畑美央（沼宮内 2）
 柴田輝音（一方井 3）
 《佳作》 稲塚司（沼宮内 3）、岩崎文菜（川口 3）
 佐藤翔太（川口 2）、高田小雪（川口 3）
 中澤あい子（沼宮内 2）、三浦麗愛（一方井中 1）

■高等学校の部 応募点数 56点

- 《最優秀賞》 三浦遥斗（沼宮内 2）
 《優秀賞》 今松優（沼宮内 2）、下平爽（沼宮内 2）
 中村紫優（沼宮内 1）
 《佳作》 今松美月（沼宮内 2）、今松悠（沼宮内 3）
 新屋倅（沼宮内 1）、田中聖来（沼宮内 1）
 山下紗織（沼宮内 1）

※（ ）は学校名と学年

【次回の展覧会】



岩手県高等学校文化連盟二戸支部 第29回 美術部合同展

一戸高校 伊保内高校
軽米高校 沼宮内高校 福岡高校



会 期：2020年2月1日（土）～9日（日） ***観覧無料***

開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）

休 館 日：2月3日（月）

主 催：岩手県高等学校文化連盟二戸支部・石神の丘美術館

■関連行事■

2月9日（日）

13:00～ 沼宮内高校吹奏楽部ミニコンサート（美術館ホール）

13:45～ 出品生徒による作品解説会（企画展示室）

美術館隣接 道の駅 石神の丘/レストラン石神の丘情報

道の駅 石神の丘 TEL0195-61-1600/レストラン石神の丘 TEL0195-61-1602

冬のおたのしみ食材

さむ～いこの時期にしか食べられない
冬のおたのしみ食材をご紹介します



《寒干し大根》



《凍み豆腐》

どちらも寒さがポイントの天然保存食品
寒干し大根は普通の大根よりも
味がしみてみやすいので煮物に最適♪
岩手町の凍み豆腐は
汁物や鍋料理にピッタリです♪
ぜひご賞味ください



からだポカポカあったまる 冬のおすすすめメニュー～

黒内豆腐と
県産豚の
麻婆ラーメン
（半ライス付）

¥800



特製
鍋焼きうどん
（半ライス付き）

¥800

新年会・各種パーティーご予約承ります
レストラン石神の丘/0195-61-1602